

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	美容室（経営者）	・12月はさすがに人が動くと思うが1月、2月は予測できない。
	○	衣料品専門店（経営者）	・ボーナス等の環境が良くならない限り、大きく伸びていくということは厳しいと感じているが、12月は最も需要が大きいいため、期待は大きい。
	○	家電量販店（店員）	・ボーナス商戦や新生活準備で、全体的な需要増加を期待している。
	○	乗用車販売店（役員）	・メーカーの発表では1～3月にかけてはかなり生産が改善するとの情報がある。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波到来の兆しがあるといわれているが、ウィズコロナの生活様式に慣れてきており、今までよりも、飲食店への影響は少ないのではないかと思う。
	○	旅行代理店（営業担当）	・以前まで動きがなかったグループ、団体も少しずつではあるが動き出している。先行きの予約も順調に伸びている。
	○	通信会社（営業担当）	・大きな動きではないが、来客数は回復傾向であり、これからの年末年始、新生活シーズンに向け期待している。
	○	観光遊園地（職員）	・為替相場の急激な変動も一段落すると予想する。また全国旅行支援の市独自の上乗せなどの効果から、宿泊者数が増加すると考える。
	□	商店街（事務局長）	・2023年も過去にない物価高騰が続くと思われることから、一部の富裕層を除き、消費者の財布のひもはますます固くなると予想する。消費者の購買心理は、新型コロナウイルスの感染状況から物価高に左右される局面に変わってしまったと感じている。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症次第という感は否めないが、12月は多数の冬のイベント等が予定されており、それに伴い来客数も増加するように思う。そしてウィズコロナが進めば、大分消費者のマインドも上がるように思われる。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行状況は心配だが、行動制限がない場合には、年末年始の景気が良くなる部分はある。しかし、円安や輸送コスト高に材料の価格高騰等で商品単価が上昇しており、客の先行き不安感が拭えないため現状同様に不安定な状況が続いていくと思う。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響か、客の動向は相変わらず低調である。年末商戦の時期に掛かり若干の期待は持っているが、どうなるかは予測不能である。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・本来なら年末年始で景気は良くなってくるが、新型コロナウイルス感染症の第8波を懸念して予約の変更やキャンセルが少し出始めている。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染症や物価上昇の状況次第で先行きが見通せない。
	□	スーパー（店長）	・値上げによる消費の低迷は回復しないと予想される。
	□	スーパー（企画担当）	・12月の年末用品は買い控えしにくい商材なのでそれなりの売上になると推定できるが、他の商品の買い控えの影響がどの程度になるかで商戦の結果が出る。
	□	スーパー（人事）	・今は支援金や給付金などがあるため、ある程度の金は動いているが、為替などに不安材料が大きく、今後の展望はみえてこない。現時点の状況では、消費行動が大きく変化する材料は乏しいと思われる。
	□	コンビニ（総務）	・コロナ禍の状況にもよるが、よほど悪化しない限りこの傾向は変わらない。
	□	コンビニ（商品担当）	・円安が続く場合は景気は変わらないと考える。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・気温がより低くなれば、コートやダウンといった高単価の商品の動きも良くなってくると思うが、冷え込みが遅れると、セール期に入り粗利が悪くなってしまう。
□	家電量販店（副店長）	・人の動きは多くなっているが、物価高の影響もあり購入に関しては慎重になっている。	
□	乗用車販売業（営業担当）	・半導体不足で長納期が解消される気配はない。	
□	乗用車販売店（従業員）	・部品不足の解消にはまだまだ時間を要し、新型車は発売されるが、配車に期待できず、現状と変わらない。	
□	乗用車販売店（従業員）	・納期の遅れは継続中であるが、今後の回復に期待する。	

	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・全体的に商品が値上げ傾向にあるため、年末もそれほど期待できない。
	□	通信会社（支店長）	・原材料価格の高騰、物価上昇の影響から、2～3か月後の大きな来客数増加、売上増加は期待できない。
	□	美容室（経営者）	・特に大きな変化はないと思う。
	□	設計事務所（所長）	・当地域の温泉等への観光客数は非常に増加しており、景気は回復はしているものの、一方では、建築費が上昇しているため事業を取りやめる企業も出てきており、何とも判断が付きにくい状況である。
	▲	商店街（代表者）	・少子高齢化、過剰店舗、ネット社会の進展等を考えると既存市街地店舗における抜本的な景気対策は極めて難しい。さらに、国は社会保障制度や自然災害対策に必要な資源を消費税アップで対応しようとする動きもある。場合によっては我が国の政治体制が混乱し、ますます不透明な時代が来るため、好転する将来の予測は難しい。
	▲	百貨店（販売促進）	・物価高と新型コロナウイルス感染症の第8波の影響があると思われる。
	▲	スーパー（財務担当）	・更なる価格の上昇で、買上件数は更に減少していくと思われる。
	▲	コンビニ（店長）	・商品価格の上昇で、クリスマス関連商品や正月関連商品共に値上がりしており、購買意欲の低下が懸念されるほか、新型コロナウイルスの新規感染者数も再び増加傾向にあり、今後の動向が気になるところである。
	▲	コンビニ（店長）	・経費上昇を吸収するためには売上は110%必要であるが、とてもクリアできる状況ではない。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・年末だが、来客数は前年と比べると全く少ない状態である。景気は少し悪くなっていると思う。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（総務部担当部長）	・観光需要を除く、足元の消費動向は力強さを欠いており、今後の物価高騰等の状況によっては、観光需要によるプラス影響を打ち消すほどの足元消費の冷え込みが懸念される。
	▲	観光型旅館（経営者）	・全国旅行支援の効果一巡及び割引率の順次縮小により、国内マーケットの需要は一旦落ち着くと思われる。また、地方空港の国際便受入れは急には進まず、インバウンドの需要回復速度は緩やかであるため、2～3か月後の旅行の総需要は新型コロナウイルス感染症発生前に届かないと思われる。
	▲	都市型ホテル（経営者）	・宿泊は全国旅行支援もあり堅調であるが、人手不足により受注制限を考えなければ営業できなくなる恐れもある。年明け後の延長も示されたが、新型コロナウイルスの感染拡大により再び行動制限が発出されたり、また、発出されなくても自粛が目立つようになったりする可能性もあり不透明である。
	▲	タクシー運転手	・2～3か月後ということで、1年のうち繁忙期である12月を過ぎると、全体的に毎年客が半減する。また、現在、当地域には新型コロナウイルス感染症の第8波が到来しつつあり、その余波で人出は減少すると思う。
	▲	通信会社（営業部長）	・更なる燃料費の高騰を始め、物価高による買換え需要への影響が出てくるのではないかと懸念している。
	▲	競輪競馬（マネージャー）	・物価高の影響により、各家庭においては余興資金がまず一番に削減されると予想する。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・光熱費や物価高による影響で、節約する家庭が増え、財布のひもはますます固くなる一方だろう。
	×	衣料品専門店（経営者）	・物価高による影響がある。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	農林水産業（職員）	・青果物の価格は、近年では底に近い価格帯で推移している。肥料・農薬等の生産費が高騰しているなか厳寒期を迎える。燃油も高止まりしておりハウス内の設定温度を抑える生産者が多くなることが予想され、必然的に、収量、品質への影響が見込まれる。その結果、供給量が減少し、価格は底上げされると見込む。需要の回復によるものではない。
	○	食料品製造業（商品統括）	・全体的に冷凍食品業界は、価格アップに半年遅れくらいの遅れはあるものの、価格アップを行うことを発信し、交渉を進めることができています。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・円安の影響で輸入から国産という流れがあり、キッチンペーパーで大口のプライベートブランドが決まり、多少売上が良くなる。

	○	電気機械器具製造業（経営者）	・ダイオード等々、仕事に関する電子部品の入荷が遅かったことに加え、価格が非常に上昇したが、工夫をして代替品で対応できるようになったことから、経営に支障を来さない状況となった。このため景気が向上くのではないかと判断した。
	○	通信業（総務担当）	・社外イベントやボランティア活動への参加者数も増加しており、人の移動が増加しつつあると考えられることから、景気も改善傾向になっていくと考えられる。
	□	食料品製造業（経営者）	・円安の動きが一服しているなか、海外からの原材料価格については高止まりで推移すると予測されることに加え、国内における新型コロナウイルス感染症の第8波が懸念されることから、外食、観光業への販売が減少すると予想している。
	□	繊維工業（経営者）	・関連の加工業者が燃料費、電気料金などの値上がりの影響で加工賃の値上げを要請しており、現状ではほぼ受け入れざるを得ない。現在、売上については順調であるが、原材料やその他の経費が高止まりしており、採算的には厳しくなっている。来春には当社商品の値上げも予定しているが、値上げ後の受注が落ち込むことも考えられる。
	□	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向であり、世界的な需要の増加も一部の業界以外では見込めない環境が当面継続すると思われる。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の到来による経済への影響や円安基調による物価高の終わりがみえない。
	□	建設業（経営者）	・公共事業をどんどん発注してほしい。
	□	輸送業（経理）	・今後の出荷計画については大きな数量増減はみられない。
	□	通信業（企画・売上管理）	・現状は売上が前年比90%程度と見込んでおり、一定期間この悪い状態が続く見込みである。
	□	広告代理店（経営者）	・全国旅行支援等の施策もあり、徐々に景気は回復傾向にあり、イベントの開催等も少し戻ってきている。しかし、エネルギー等仕入価格の高騰を受けている客先からは、今後も販促広告等の削減が見込まれる。したがって、結果として余り変わらない予想である。
	□	税理士事務所	・現状から好転する状況が想像できない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	・ハウスメーカーの受注が回復していない。今後の受注は厳しい状況が予想される。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	・電気料金の燃料費調整額はどこまで上昇するのか予想が付かない。また、電力会社からは、契約価格自体の値上げも予告されている。
	▲	一般機械器具製造業（経理担当）	・足元では世界的な金融引締めによる景気後退や新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念もあり、先行きの不透明感が強まっている。
	▲	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の懸念もあるが、それにも増して、公共事業の受発注量が前年度よりも少ないことが気になる。第4四半期でこれが一気に回復するとは思えないため、今後は、手持ち量の減少により、やや悲観的に考えており、やや悪くなると見込む。
	▲	輸送業（経営者）	・国会の放送されることの中身が恥ずかしすぎる。
	▲	輸送業（営業）	・全国旅行支援等の政府施策により人流が活発化する一方で、収束傾向にあった新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大に転じ第8波が危惧されていることや、12～1月にかけて飲食料品やエネルギー料金の大幅な値上げが予定されていることに鑑みると、消費低迷が予想されることから、現状以上の景気回復は見込めないと推察する。
	▲	金融業（副支店長）	・仕入価格の更なる値上げや新型コロナウイルスの新規感染者数の動向等により、景気はやや悪くなると予想する。
	×	—	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	求人情報誌（営業）	・引き続き求人数は増加すると予想される。一方で、求職者の動きは鈍いことから、採用には至らないケースが増加している。
	○	学校 [大学]（就職担当）	・全国旅行支援による国内観光客の増加や訪日外国人観光客の増加が想定され、人手不足感が強まると思われる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・原油高などにより工業関係の企業の派遣の求人数は減少しつつあるが、サービス業関係の求人数は一定数ある。
	□	求人情報誌製作会社（従業員）	・年末年始のアルバイト需要が終わり、アルバイトの募集は減少するが、正社員の募集が増加すると予想される。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・物価高、円安等の関係で採用の動きは思ったより活発化しておらず、もう少しこの状態が続いていくと予想される。

▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	・各種資材の高騰など、景気が良くなる要素が乏しい。
▲	職業安定所 (求人開発)	・これから冬場にかけて、新型コロナウイルス感染症の第8波が押し寄せると思われる。このため今後当地域の宿泊飲食サービス業が打撃を受けると予想する。
×	—	—